2018年(平成30年) 11月1日(木)
SIC KAWARABAN 11月号
-Sagamihara Incubation Center - さがみはら産業創造センター　編集・発行
No.174

入居企業紹介 その157

SICに入居されている企業様をご紹介します。

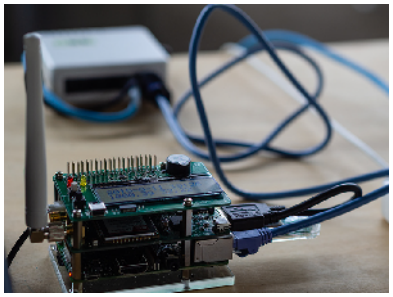
>>> Desk10 株式会社グリーンノート

「“IoT”でつながる“経験”と“挑戦”のループ」

【代表プロフィール】
株式会社グリーンノート
代表取締役社長　立石　彰（たていし　あきら）
高知県出身・東京都稲城市在住

【創業の経緯は？】
大手化学品メーカーや米国の電子部品メーカーなどを経て、国内の大手精密機械メーカーで材料開発やセンサーデータ収集・解析技術、行動分析システム開発などに従事してきた立石さん。本年6月に会社を退職し、8月にIoTに関する技術コンサルティング事業や技術者向けセミナー講師業を主とする株式会社グリーンノートを設立されました。SICには、創業と同時期にDesk10に入会されています。
法人設立から3か月ほど経ち、今後は自社の方向性をより一層明確にしていくことを課題として挙げていますが、今回の新たな挑戦を楽しみながら、立石さんは起業家としての歩みを着実に進めています。

【事業紹介】
グリーンノート社では、IoT関連機器・サービスの開発に取り組む企業への技術コンサルティングを重点的に行いながら、IoTを活用して生産性の向上に取り組む企業の支援も行っています。



複数の無線を同時に扱える「IoT エッジサーバー」の試作品

同社の強みは、IoTシステム全体を鳥瞰的に捉える総合力です。クライアント企業が保有する優れた技術を自社製品・サービスの中に組み込み、経営課題を解決するための支援や、IoT技術により得られたデータを働き方改革に繋げるための助言などを行っています。
近年、IoTへの期待や関心が高まる一方で、具体的なツールやシステムを導入したが成果に繋がっていないといった声も多く聞かれます。立石さんは、「IoTで“見える化”しただけで成果がでるのは、もともとフィードバックの仕組みを持っていた現場だけ。仕組みのないところにデータを見せても課題解決には繋がらない。重要なのは、データがどのように企業の行動を変えて経営課題を解決するのか、具体的な仕掛けを常に考えること。それが更に新しいデータを生み、次の課題を解決する。そのループなくして、IoT活用による成果を生み出すことは難しい」と話します。同社では、そのような観点から、より効果的なIoT製品・サービスの開発支援、そしてその導入・活用支援に取り組んでいます。

【これからの夢または目標は？】
「急速に進化する技術や激変する市場環境に対し、会社員の立場では臨機応変な対応が難しかったと感じています。保有技術を大切にするのは当然ですが、常に新しい技術を習得し活用していく柔軟さを持っていたいですね。」
立石さんは技術者同士の関係も大切にしており、コミュニティでの情報交換や議論、実証モデルの試作などにも取り組んでいます。顧客の課題解決に最新の技術と情報で貢献できるよう努力を惜しまない毎日です。

地元のコミュニティイベント「身近な未来をさがしにいこう！」に出展して、参加者と技術談義

【取材を通じて】
休日には自転車に乗って津久井湖や高尾山界隈に足を運ぶなどアクティブな立石さんですが、意外にも高校時代は放送部に所属されていたそうです。「当時から裏方仕事が得意だった」と話す一方で、「今を思うと、無駄な経験などなかった」と話されます。例えば、かつての上司から言われた、『顧客を見ても顧客のことはわからない。市場を見ろ。市場を見ても市場のことはわからない。業界全体を見ろ。』という言葉が、今の社会・業界の動向を俯瞰（ふかん）して捉える力を養うことに繋がっているそうです。
経験から得た学びを新たな挑戦へと繋げていくループこそ、立石さんにとって何よりの強みであるように感じられました。（SIC 樽川）

株式会社グリーンノート
Desk10
URL : https://www.i-gnote.com/
E-mail : akira@i-gnote.com

入居企業トピックス

○今月の掲載記事紹介○

１０月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1 と 2 に掲示していますので、ご覧ください。

10 月 10 日（水） 髙瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞 -
- 働き方改革について①-

10 月 10 日（水） Team SAGAMIHARA※ かながわ経済新聞 -
- 連携してＷＲＣ出場 -

10 月 10 日（水） Team SAGAMIHARA 相模経済新聞 -
- 国際ロボ協議会に出場 -

※ Team SAGAMIHARA：市内 8 社と 1 大学の構成で WRC (World Robot Challenge) にエントリー。入居企業では、株式会社 F-Design 様が参加されています。

恒例!!冬の交流会 「ＳＩＣ大望年会」開催のお知らせ

年末恒例の大望 (忘) 年会開催のお知らせです。2018 年（平成 30 年）も残り 2 ヶ月。12 月の一日を楽しく過ごしましょう！

開催日： **平成３０年１２月１３日（木）**

只今、スタッフが「ビンゴ大会」- 豪華景品をご用意！ - 等々、色々な準備を開始しました！詳細が決まり次第、皆様へご案内します。

● お問い合せ先　担当：大谷（SIC- 2）

SIC-2 増築棟完成までの**カウントダウン！！**

ＳＩＣ-２増築棟完成まで、

２７２日

「SIC 空き室情報」

SIC の空き室情報です。

○セミラボ：実験、評価、分析などのウェットラボとして、設計、試作など研究開発ラボとして、目的に合わせてご利用いただけます。

○スモールオフィス：数名での事業活動に最適なオフィスとしてご活用いただけます。

増床・移転をご希望の方はご検討ください。

※ お問い合わせ先　担当：大谷・稲垣（ SIC- 2 ）

knock! knock! 空き室情報！

SIC 空き室情報（平成 30 年 11 月 1 日現在）※お気軽にお問い合わせください。

SIC-1　△スモールオフィスＡ (23.6 ㎡)　303 号室
　　△スモールオフィスＡ (23.6 ㎡)　305 号室
　　※303 号室、305 号室共に 2019 年 1 月以降入居可能
　　○スモールオフィスＢ (17.3 ㎡)　318 号室

SIC-2　△セミラボ（50.2 ㎡）　207 号室
　　※2019 年 1 月以降入居可能

お知らせ

開催内容等、詳しくは SIC ホームページをご覧ください。

人材が定着・成長する組織づくりとは？

The HINT No.42 (SIC ミニセミナー)

企業・事業の成長のためには、人材の定着・成長を促す組織づくりが必要不可欠です。しかしながら、人事評価制度や就業規則といった社内規程の運用がうまくいかず、なかなか人材が定着しないといった声も多く聞かれます。

そこで、今回の HINT セミナーでは、社会保険労務士の鈴木氏を講師に迎え、採用した人材が定着し、自社の重要な戦力として仕事に取り組める環境・体制をつくるポイントを学びます。

【講師】
鈴木道士行政書士・社会保険労務士事務所
　代表　鈴木 道士　氏

大学卒業後は建設会社に入社し、都営地下鉄大江戸線の現場監督などを担当。その後、平成 11 年に社会保険労務士資格を取得。資格予備校での講師業を経て平成 18 年に独立開業。10 年以上にわたり、労務の専門家として、地域の企業・経営者の支援に取り組んでいる。

☆☆☆こんな方におすすめ☆☆☆

- 従業員の新規採用を検討しており、社内規程の側面から人材定着のポイントを押さえておきたい。
- 今後組織づくりを進めるにあたって、人事評価制度や就業規則などの策定や導入手順に不安がある。

●日時：平成 30 年 11 月 12 日 (月)　17:30-19:00
●会場：SIC-2　大会議室
●対象者：SIC 入居企業様（経営者・経営幹部の方）
●参加費：無料（定員 20 名）
● お問い合せ先　担当：樽川・片山（SIC- 1 ）

ビジネスと経営の実践者が語る経営者セミナー Vol. 19

ブレない老舗のプライド
ＩＴと働き方改革に賭けた経営再建
- 最先端のおもてなしシステム -

今回の経営者セミナーは、ＩＴと働き方改革で倒産寸前の状況から経営再建を果たした株式会社 陣屋 代表取締役女将の宮﨑知子氏を講師にお招きします。宮﨑氏が急遽女将に就任し、この９年間で進めてきた“生産性改革”は、老舗旅館に受け継がれてきた業界慣習や経営慣習、人材管理の中にあった常識を打ち破ることでした。倒産寸前の状況からの経営再建、そして業界全体で描く夢と未来像について、ご講演いただきます。

【講　師】
株式会社　陣屋　代表取締役女将　宮﨑 知子 氏

1977 年生まれ。昭和女子大学文学部卒業後、リース会社に勤務。結婚・出産後は専業主婦となり、2009 年に夫の実家である老舗旅館「陣屋」の女将に、2017 年に代表取締役女将に就任。2 児の母。

第 2 回日本サービス大賞「総務大臣賞」受賞【サービス産業生産性協議会 (2018 年)】、「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」選定【中小企業庁（2018 年)】、「攻めのＩＴ経営中小企業百選」選定【経済産業省（2015 年)】他受賞多数

●日時：平成 30 年 12 月 5 日（水）17:00-19:00　（受付開始：16：30 ～）
●会場：町田市文化交流センター（プラザ町田ビル 5 階・けやき）
●参加費：無料（定員 120 名（申込順））
●お問い合せ先　担当：磯谷・片山（SIC- 1 ）

編集後記

11月になりました。来年1月のSIC会議室予約が始まりました！年越しの準備も始まっています。さて、人間がふだん当たり前に行っているコミュニケーションの仕組みを研究する「会話分析」と言う学問があります。それによると、会話の中で、すでに話題になっていることだから省略しても大丈夫と考えていたことを聞き返されたとき、人は「うん」と答え、こう言えば相手に伝わったのだということを相手の返事で気づかされた時は、「そう」を使うのだそうです。無意識のうちに人は、はっきりと使い分けているのだとか。そうであれば、ビジネスの場面では、返事は「はい」が無難なのでは？！　荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。　電話 :042-770-9119　FAX:042-770-9077　ホームページ：https://www.sic-sagamihara.jp
発行元：株式会社さがみはら産業創造センター（SIC）　〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21　E-mail : koho@sic-sagamihara.jp